

同種造血幹細胞移植後における感染症関連死亡の推移に関する検討

1. 研究の対象

2006 年から 2020 年までの間に、日本国内の医療機関で同種造血幹細胞移植を受け、日本造血細胞移植学会 (JSHCT) の「造血細胞移植登録一元管理プログラム (TRUMP)」にデータが登録された方。

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2028年3月31日

研究目的：同種造血幹細胞移植後の治療成績は向上していますが、感染症は依然として命に関わる重要な合併症です。近年、新しい予防薬（レテルモビル等）の登場や検査技術の向上により、感染症の管理は進歩しました。しかし、移植片対宿主病（GVHD）という合併症を重症の状態で発症した患者さんにおいて、これらの進歩が十分に届いているかは分かっていません。本研究は、過去 15 年間の大規模なデータを集計し、GVHD の状態によって感染症死の推移がどう異なるかを明らかにすることを目的としています。

研究方法：日本造血細胞移植学会のデータベース（TRUMP）に登録されている情報を、匿名化された（誰のデータか分からない）状態で統計解析します。この研究のために追加の採血や検査は行いません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

移植学会の造血細胞移植登録一元管理プログラム (TRUMP) にて匿名化されており個人が特定できないデータを用いて統計学的解析を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

研究責任者 藤 重夫
大阪国際がんセンター 血液内科
〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3 丁目 1-69
TEL : 06-6945-1181 (代表) PHS 6476

-----以上